



## 学校祭（体育的行事）

4月26日、2日前のリハーサルが雨で昨日に延期され、課題発見とその修正をする時間がほとんどなく、多少不安な中で本番当日を迎えました。

多くの御来賓のみなさまや保護者のみなさまが、早朝より参観くださったことで、生徒たちへの関心の強さや学校への期待感を視覚的に感じました。



コロナ以前の体育大会に踏襲するのではなく、新たな試みに挑戦するという不安を感じながらも、立派にやりきった体育的行事ではなかったかと思います。

今回はそれぞれの団を率いた団長やリーダーに「体育的行事を終えて」ということで感想を書いてもらいました。



## 【団長の感想より】

**黄組団長 伊藤広裕(3-1)**

この度、団長としてエール交換という新たな挑戦を含む体育的行事に挑みました。この中で、なかなか団がまとまらず不安になることもありましたが、

でも、日々の練習を積み重ねることで、だんだんみんな上達していき、団が一つになっていくのを実感した時はなんだか嬉しかったです。

不安が少し残る本番、いざ始まってみると何に心配になっていたのか分からなくなるほど、団がひとつにまとまっております、とても感動しました。

ここまで出来たのは一人ひとりが協力して動いてくれたからです。

本当にありがとうございました。

この経験を今後活かしていこうと思います。

**赤組団長 神谷優河(3-2)**

リハーサルではエール交換がうまくいかなかったけど、本番ではよく声が出せていて、動きもそろっていたのでよかった。注意したらすぐ聞いてくれたのでよかった。

**緑組団長 宮本詩音 リーダー 松岡咲寿(3-3)**

私は、この学校祭体育的行事で頑張ったことがあります。

それは、大きな声を出すことです。

他の色の団長は皆が男子であり、声量には大きく差があります。そのことは、重いハンデとして私にのしかかりました。練習の際には、指示がうまく通らないためスムーズに進行することに苦労しました。エール交換や選手宣誓の際には、他の色の団長と声量を比べて落ち込んでしまうこともありました。しかし、他のリーダーたちの助けがあったおかげで、練習を無事に進

めることができ、エール交換の際にも他の団長に負けられないような声量を出せるように全力を尽くせました。

2年生と3年生しかいない緑組ですが、競技中の大きな声援なども影響して、最後には優勝を掴むことが出来ました。苦勞も絶えない役目でしたが、結果的に緑組の皆のすごく嬉しそうな笑顔を目にすることができ、団長として心より嬉しく思います。



### 青組団長 小林雄吾(3-4)

よくできていたと思います。1・2年のリーダーもよく動いてくれたし、みんなテキパキ動いてくれたので困ることはありませんでした。みんなが大きな声を出してくれたので迫力ある良いエール交換にすることができました。

また、競技前の選手を励ましていたり、最後までしっかりと応援したりして、仲間思いな良い団だなど感じました。そして、全員全力で競技に取り組んでいたのが良かったです。



最後に、団長で良かったと思える青組と一緒に最高に楽しい体育祭にすることができて、本当に良かったです。

(青組リーダーの感想)

練習では人の話を聞いてない人が多かったが、本番では二つの話をしっかりと聞き、心をひとつに頑張っていた。また、団長の指示がなかったり、リーダーがいない時でも応援をしたり、1・2年リーダーが考えて動いていたのが良かった。

今回、参観いただいた御来賓のみなさまの中からも、「今年は良かったよ」「生徒が生き生きと活動していた」「元気のいい大きな声で声援したり、全力の走りなど久しぶりに生徒のみなさんの元気な姿を見れて嬉しかった」など好意的な感想を多くの方からいただきました。



短期間の中で試行錯誤しながら取り組んできたことが、成果として現れた体育的行事だったと感じています。

この行事を通して、クラスの仲間の事を多く知ることにもつながりました。

これから先の学校生活に何が活かされるか、クラスとしても個人としても、頑張ってもらいたいと思います。

地域や保護者のみなさんの励ましが生徒を成長させます。

引き続きよろしくお願ひします。ありがとうございました。

